

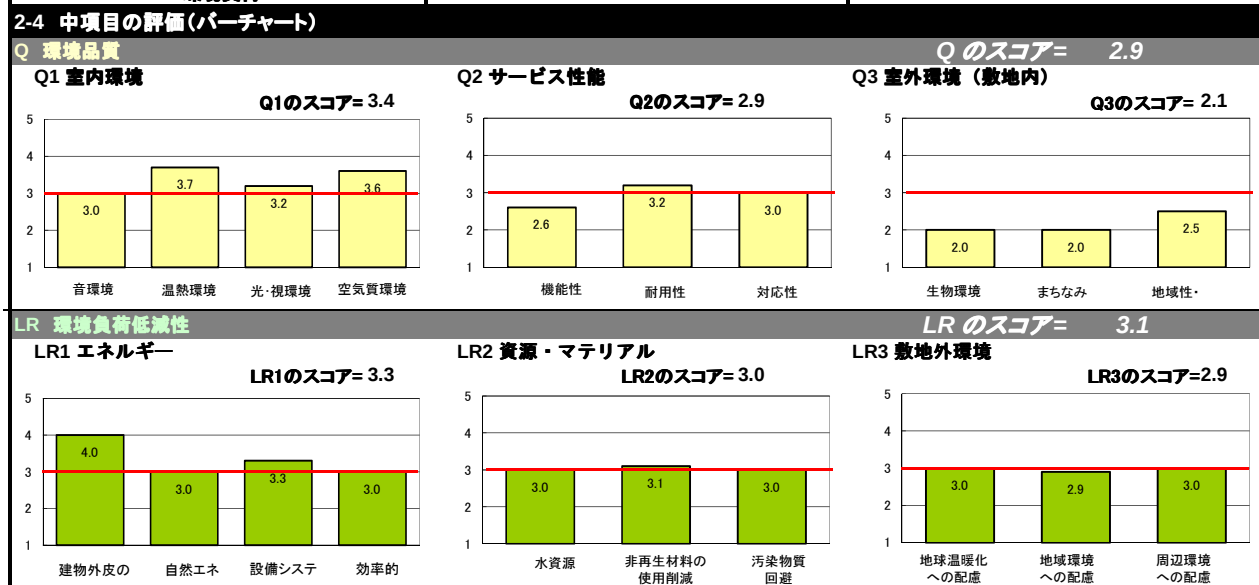
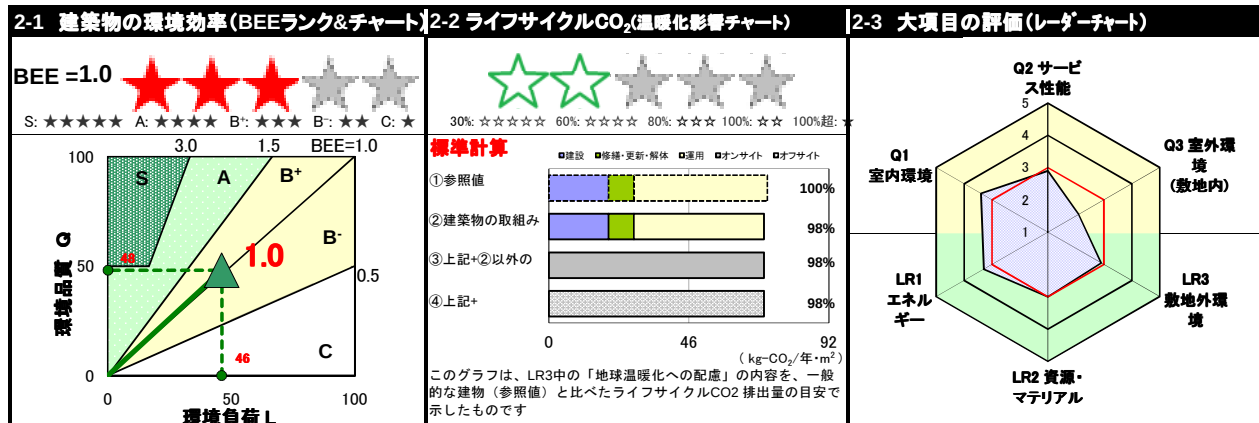
CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)リベール姫路市南畝町 新築工事	階数	地上15F、地下1F
建設地	兵庫県姫路市南畝町二丁目32	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	112 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年8月 予定	評価の実施日	2022年5月31日
敷地面積	442.06 m ²	作成者	上山 幸治
建築面積	228.93 m ²	確認日	2022年6月9日
延床面積	2923.65 m ²	確認者	上山 幸治

外観
図を
シート
きは
!除してください



3 設計上の配慮事項	
総合	地球温暖化防止に努めた計画としている。
その他	特になし。
Q1 室内環境	ほぼ全面にF☆☆☆☆建材を採用し、室内環境をの健全化に配慮している。
Q2 サービス性能	耐用年数の長い管材を採用している。
Q3 室外環境(敷地内)	日陰を設け暑熱環境を緩和している。
LR1 エネルギー	断熱性能等級4を取得し、建物外皮の熱負荷抑制に努めている。
LR2 資源・マテリアル	標準的な計画としている。
LR3 敷地外環境	標準的な計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される